

南都銀行におけるクールビズの取組について

別紙2

南都銀行(<http://www.nantobank.co.jp/index.htm>)

チーム員である南都銀行では、2002年、環境ISOの認証取得を機に、グループ挙げて「身近な環境活動」への取組を開始しました。03年より、関西広域機構が奨励する「夏のエコスタイルキャンペーン」に参加し、クールビズを試行、クールビズが始まった05年から、独自の服装ガイドラインに沿って全店一斉に「クールビズ」を実践しはじめました。

本店営業部の河田光央部次長曰く、取組開始当時は、行員には好評でしたが、お客さまの中には違和感を抱く方もいらっしゃったようで、行員によるエコ宣言バッジの装着やクールビズへの取組の説明を地道に行ううちに理解を得られるようになったとのこと。

現在では、その日の気候や場所、条件によって体感温度が変わるため、窓口周辺はできるだけこまめに温度管理しております。

そうしたなか、南都銀行では、今後の温暖化防止対策の推進に少しでも貢献したいとの思いから、チーム・マイナス6%と連携して、来店者を対象にクールビズの取組に関するアンケート調査(クールビズ体感調査)を8月18日～29日(土日をのぞいた10営業日)まで実施しました。

結果は、一部気温が30度を下回る日もございましたが、アンケート回答者のうち、全体の約8割が、「適温である」または「やや暑いが、特段支障はなかった」と回答するなど、クールビズの取組に対して肯定的な回答が寄せられました。

なお、寄せられ意見には、「このような取組を支持する」が最も多かったものの、「もっと工夫が必要」「ネクタイは着用してほしい」という声もありました。

<アンケート調査結果>

【調査日時】8月18日～29日(土日をのぞいた10営業日)

【調査方法】来店者を対象として、調査員による任意の書面アンケート調査

【サンプル数】213

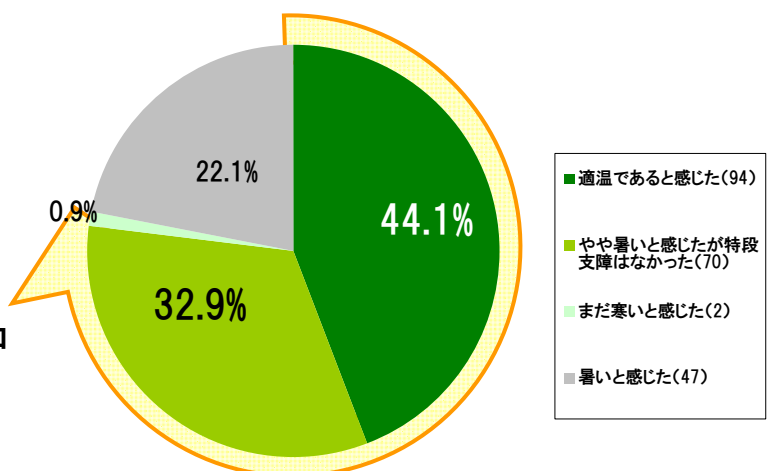
※スコアは小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを掲載する

(1):店内の室温についてどのように感じましたか

<「適温」ならびに「やや暑いが特段支障はなかった」と感じた計> (n=213)

77.0%
(※77.9%)

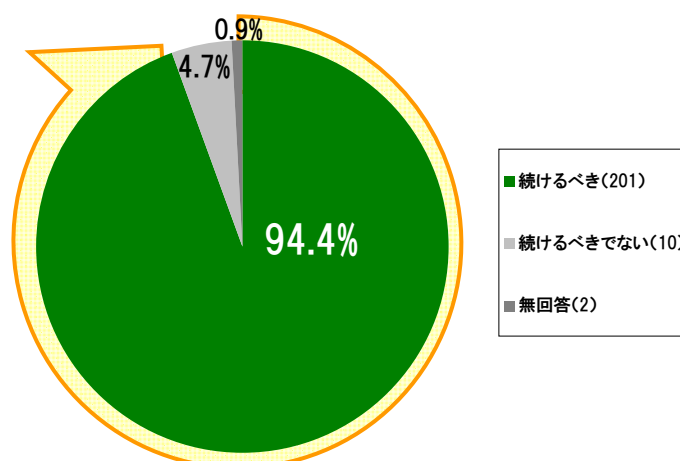
(※「適温である」「やや暑いが特段支障はなかった」と回答した人数に「まだ寒いと感じた」と回答した人数を加えた、取組に対して肯定的な意見の人数計の割合)



(2)地球温暖化対策のために、今後この取組を続けるべきと思いますか

<地球温暖化対策のために今後この取組を
続けるべきと考えている人の割合> (n=213)

94.4%



<今回の試験的取組によせられた意見> (自由回答:28件) ※重複回答あり

- このような取組を支持する(16件)
- 取組自体には賛同するが、もっと工夫が必要だ(6件)
(店舗業態やその日の気候によって温度を変える/団扇を配るetc)
- 他のスペースでも実施するなどして取組を拡大していくべき(5件)
- 今後も環境問題に積極的に取り組んでほしい(3件)
- 健康にも配慮できるので良い(2件)
- 銀行でもこのような取組をしていると知って驚いた
- 良い取組なので、もっと説明があればよいと思う(2件)
- 過剰包装やノベルティ配布もやめるべき
- 取組自体は支持するが、ネクタイは着用してほしい
- 地球温暖化(防止)のために必要なのはわかるが、暑いのは不快である(3件)



クールビズを呼びかけるポスター



行員全員に配布される南都銀行の「エコカード」